

## 岡山県のツキノワグマ

岡山県、兵庫県及び鳥取県にまたがる東中国地域に生息するツキノワグマは、環境省のレッドリストに「絶滅のおそれのある地域個体群」として位置付けられています。

このため県では、平成12年度から「ツキノワグマ保護管理計画」により狩猟による捕獲を禁止するなど、保護の取組を進めてきた結果、生息数は回復しつつありますが、近年、人里への出没が増加しています。

平成24年度からの「第4期ツキノワグマ保護管理計画」では、「県民の安全・安心の確保を第一に、併せてツキノワグマの地域個体群の安定的維持を図ること」を目標として、人とツキノワグマの棲み分けによる共存の実現を目指した取組を進めています。

### 近年ツキノワグマの出没が確認された地域



(H21~23の出没状況を基に作成)

### ツキノワグマの特徴

分布	本州・四国・九州
身長	110~130cm
体重	50~120kg
視力	あまり良くない
聴力・嗅覚	非常に優れている
走る速度	人間よりずっと早い
得意な運動	木登り、水泳

## ツキノワグマの生活

行動範囲は約7km  
オスの方が広く動き、大人になると7km四方をテリトリーに行動します。



1月頃から3月頃にかけて冬眠します。  
妊娠したメスは冬眠中に1~2頭の子供を生みます。

冬



冬眠穴

活動するのは?  
一日のうち、もっとも活発に活動するのは夕暮れ時から早朝にかけてで、エサ探しに夢中です。

秋



秋になると冬眠に備えて食欲が旺盛になり、ドングリなどの木の実をたくさん食べます。



クマ棚



豊かな自然の残る落葉広葉樹林が本来のクマの住みかです。

春



子グマは1歳半から2歳半になるまで母グマと一緒にいます。



スズノコ



フキノトウ

アリ



食べ物は植物中心

好みは木の実、果実や山菜などです。季節に応じて食べる物が変わり、夏は昆虫やサワガニも食べます。

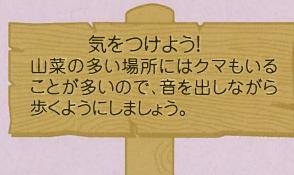


サワガニ

6月~7月頃が繁殖期です。

夏

気をつけよう!  
山菜の多い場所にはクマもいることが多いので、音を出しながら歩くようにしましょう。



キイチゴ



ハチミツ・昆虫